

【文学国語】

<学習内容について>

「現代の国語」の分野を発展させた内容です。主として近代以降の評論・小説・随筆などを学習します。文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、感性・考え方を深めることによって、人生を豊かにすることを目的とした科目です。

<教材について>

教科書：「高等学校 標準 文学国語」（第一学習社）

学習書：「高等学校 改訂版 標準 現代文 B」（NHK 出版）

※教科書は昨年度と異なり新しくなります。学習書は昨年度と同じです。

<レポートについて>

前期 6 回、後期 6 回のレポートがあります。

[前期]

教科書第 I 部

[後期]

教科書第 II 部

<学習の進め方について>

レポートに取り組む際に、声に出して本文を読むようにしましょう。読みがわからない字は、学習書などで調べたり、NHK 高校講座のサイトで朗読を聞いたり、授業に出席したりするとわかります。漢字や語句の問題については、教科書や学習書を使って調べれば解答できるようにしています。国語辞典（紙の辞書でも、ネット上の辞書でもかまいません。）を活用すると語彙が増えるのでお勧めです。漢字や語句については、何度も復習して、正確に使えるようにしておくことが大切です。読み取りの問題が解けないときには、学習書を活用しましょう。同じ問題はなくても「学習のねらい」で観点を確認することができ、本文の構成や要旨、学習のポイントが解答のヒントになります。それでも分からないときには、質問しましょう。

<スクーリングについて>

半期に 2 時間以上の出席が必要です。教科書と学習書を忘れずに持参してください。スクーリングでは、漢字や語句を確認したり、本文の内容を読み取ったり、自分の考えを書いたりします。

<評価について>

評価は、試験成績と平常点（レポートの成績、実技成績、学習態度等）を以下の観点をもとに総合して 100 点法で行い、30 点以上を合格とする。

[知識・技能]

言葉の働きを理解し、語感を磨き、語彙を豊かにすること、また、文学的な文章における文体の特徴や表現の技法について理解を深めることができている。

[思考・判断・表現]

・文章の種類を意識し、内容や構成、展開、表現の特徴などを的確に捉えて内容を理解している。また、作品に表れているものの見方や、感じ方に触れ、自分の考えを深めることができている。

・構成や展開、表現の仕方について吟味し、工夫して文を書いている。

[主体的に学習に取り組む態度]

言葉がもつ価値への認識を高め、言葉を通して社会に関わろうとする態度を身に付けることができている。